

～海鳴り遙かに～

# 上高だより

平成29年4月28日 金曜日  
第1号



長崎県立上五島高等学校  
NAGASAKI PREFECTURAL KAMIGOTOU HIGH SCHOOL



## 第66回入学式

4月10日(月)に、第66回入学式を行いました。普通科87名電気情報科26名、合計113名の入学が許可されました。新入生代表宣誓では荒木海音君(1年3組)が、高校生活の意気込みを力強く宣誓しました。上高生としての自覚を持ち、勉強に部活動に励んでください。



## 新任式・始業式

平成29年度の人事異動に伴い上五島高校では、7名の先生方をお迎えしました。活気ある上五島高校を今年度もよろしくお願いたします。その後、平成29年度第1学期始業式を行いました。校長訓話では、自分探しの場所である学校で、学習に部活動に一生懸命に取り組んでほしいと話されました。

校長(数学)	原 昌紀
副主幹事務長	榎 健吾
工業(電気)	本村 翼
英語	藤田 雄大
社会(日本史)	橋本 友也
理科(生物)	山口 聖月
数学	佐藤 直樹

## 対面式

4月11日(火)に、2・3年生と新入生(66回生)の対面式を行いました。生徒会長の江口将海君(3年2組)より歓迎挨拶・生徒会執行役員紹介があり、66回生を代表して田中美羽さん(1年3組)が新入生代表挨拶を行いました。その後、2・3年生による愛唱歌『海鳴り遙かに』を歓迎の意を添えて合唱しました。



## 1年生宿泊学習

4月18日(火)から、上五島海洋青少年の家にて、1学年による1泊2日の宿泊研修が行われました。上高生としての自覚を持ち、充実した高校生活を送るための研修です。校長先生と学年主任からの講話があり、校歌練習と続き、クラスメイトと親睦を深める活動を行うなど充実した時間を過ごしました。今年初めての取り組みで、各クラスの発表の時間がありました。劇やダンス、クイズを考え、クラスの団結力を深めることができました。



## 5月の行事予定

- 1日(月) 面談週間(～2日)
- 2日(火) 新体力テスト・身体測定  
専門委員任命式 表彰伝達 面談週間
- 3日(水) 憲法記念日
- 4日(木) みどりの日
- 5日(金) こどもの日
- 8日(月) こころのアンケート(第1回) あいさつ週間～12日
- 9日(火) 考査時間割発表

- 14日(日) PTA総会
- 15日(月) 振替休日(5/14分)
- 16日(火) 1学期中間考査 尿二次検査
- 17日(水) 1学期中間考査
- 22日(月) 開校記念日
- 23日(火) ①耳鼻科検診
- 24日(水) ①眼科検診
- 25日(木) 生徒総会 歯科検診
- 30日(火) 高総体社行式



## 校長挨拶

## 「いんまみちよれ」



校長原 昌紀

4月に第26代校長として着任しました。皆さん、どうぞよろしくお願いたします。標題の言葉は、私が上五島高校に赴任するにあたり、かつて上高に勤務されていた先生からうかがった話に出てきた言葉です。今から三十年前、当時の平田徳男校長先生が、上高生に向け連呼されており、大きな目標に向かって自らを奮い立たせる言葉として生徒達を鼓舞されていたそうです。何とも親しみのある言葉の響きですが、この言葉の響きからは、将来をかつと見据えた若者の姿が想像できます。これまでの上高生の活躍の裏には、この言葉の精神が脈々と受け継がれているのだと実感した次第です。

平成29年度の本校の努力目標として、「確かな学力のもと、未来を拓く人間力を身に付ける教育」を掲げ、始業式では生徒達に以下のような二つの話をしました。

### 一つ目 若者への期待について

- ・世界の情報化、グローバル化が進む中、日本の今後の道を切り開くために、若者には大きな期待がよせられている。本校も、そのような状況に対応できる「人材」を育てていくことが大事。そのためには上高生にとって「当たり前」のレベルを高めていかなければならない。
- ・自分がやるべき事一つ一つを正面から受け止め、失敗を恐れず、やり抜く姿勢を身につけて欲しい。何事にも時間をかけ、悩み苦しみながら身に付けた力こそが本物の力であり、今は十分な力が付いていなくても「頑張っって繰り返せば必ず力が付く」と信じて頑張っってほしい。

### 二つ目 「人間力」について

- ・単に良い大学や良い会社に進学、就職ができれば良いということでない。その先にある社会人として活躍、社会への貢献を思い描いて、今を努力していることと思う。
- ・そのためには、学力以外にも体力や気力、愛情や思いやり、感性、品格など、大切にすべきものが数多くあり、それが総合的に働いて「自分らしさ」、「その人らしさ」がつくり上げられていく。その「自分らしさ」、「その人らしさ」が他に認められることにより、活躍の場が与えられ、社会に貢献できるのであり、これが「人間力」である。
- ・「人間力」を身に付けるためには、授業、部活動、学校行事の他、友人との会話や読書等、様々な事に対し主体的、積極的に取り組むことで育まれていくものである。
- ・みんなの言葉や行動には「誠実さ」や「素直さ」がにじみ出ている。これは、「人間力」の根幹をなすもので、多くの生徒がすでにそれを身に付けているということに自信をもって更に自己を磨いて欲しい。

話の最後は、上高のこれからの伝統は、385名の生徒みんなで作っていくもの。私たち教職員も精一杯君たちを指導していくので、いいスタートダッシュがきれるよう今日から頑張ろう。と結びました。

高校の3年間は、子どもたちが社会へ旅立つ準備期間であり、社会の厳しさや、生きていくうえでの方法、考え方、知恵などを教えていかなければならない期間でもあります。お子様の健やかな成長のため、進路実現のため、職員一丸となって本年度も頑張ってまいります。ご理解、ご支援のほどよろしくお願いたします。

## 5月14日(日) PTA総会

- PTA・母の会総会 13:00～
- 学年PTA 14:10～
- 学級懇談会 15:40～

学校へのお越しをお待ちしております!

